

様式3

令和5年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（121） 学校名 豊田市立藤岡中学校

1 テーマ

豊かな心を育む学校づくり
地域に貢献し、地域と共に活動する環境美化活動を通して

2 ねらい

- 学校・地域の清掃活動やボランティア活動を通して、環境美化・保護に努めようとする意欲を高める。
- 花を種から育てることにより、命の大切さを感じ、美しい環境と豊かな心を育てるとともに、学校・地域を花でいっぱいにできるように、地域に根ざし、地域に貢献できる活動を展開する。
- 「地域花壇の整備」「藤棚の管理」などを実施することで、地域との交流を深め、地域を愛する心を育てる。また、地域の教育力を学校教育に生かす活動を積極的に企画・実施する。
- 生徒が心豊かに健やかな学校生活を行えるよう、心の相談員を配置する。

3 活動内容

- ① 生活環境委員会の活動、ボランティアによる活動で、種から花を育てる。学校や地域を花いっぱいにすることで、自己肯定感を育む活動を展開する。
- ② 総合的な学習の時間に地域貢献活動「地域に感謝の気持ちを伝える活動」を行う。また、生徒会主催による校内清掃ボランティア活動などの充実を図る。
- ③ 地域学校共働本部を通して、「地域で活躍する人の話を聞く会」や「職場見学」などを行うことで、地域住民の力を学校教育に積極的に取り入れる。
- ④ 各種活動状況を、学校だよりやホームページを通じて地域に積極的に発信する。
 - 委員会活動、花のある教室、花の手入れと管理（年間）
 - 地域の方々と共に藤の剪定（7月・1月） 環境整備活動「藤の回廊整備」（7月・1月）
 - 「地域の人材から仕事を学ぼう（1年生）」の実施（10月）
 - 総合的な学習の時間に取り組む「地域に感謝の気持ちを伝える活動」（12月）

4 成果と課題

(1) 成果

- ・ 学校花壇の手入れやチューリップの球根植えや球根回収に挑戦することにより、生命の大切さを感じ、校内の美しい環境づくりに関心をもつことができた。
- ・ 自主的に、地域のボランティア活動や校内での地域の方を交えたボランティア活動に取り組むなど、環境美化に関心をもつ生徒が増えてきた。
- ・ 「地域支援ルーム」を有効活用するため、「地域講師の話を聞く会」「藤剪定講習」など、地域の方の力を借りて実施することができた。

(2) 課題

- ・ 冬場の花壇等、花壇が寂しくなる季節の工夫をしていき、花のある学校が維持できるよう委員会を中心に工夫していきたい。
- ・ 学校支援地域支援本部のコーディネーターを中心にさらに意義のある活動を計画していきたい。
- ・ 学校規模の縮小などによる活動の見直しが行われ、昨年度までと同等の委員会活動ができなくなった。また、地域の人材の高齢化などで、山間部の本校においては、これまでと同じことを今後も継続していくことは見直す分野が出てきている。

(3) 「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことによる成果

- ・ 整備員には、広大な校地を季節に合わせて整備をしてもらい、美しい環境を維持することができた。心の相談員は別室登校生徒への対応をしたり、司書は昼放送で推薦図書等を伝えたりして、学校運営に好影響を与えてくれた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ 学校便りやHPなどに隨時掲載し、保護者、地域の方々に情報提供を行った。全校集会において委員会の取り組みを発表したり、藤棚剪定ボランティアの様子などを学年通信や学校便りの中で隨時紹介をしたりした。
- ・ フジバカマ花壇を地域学校共働本部とともに整備し、アサギマダラの来訪を生徒や保護者にも宣伝した。休み時間や下校時に生徒が花壇のアサギマダラを見に来たり、来校した保護者が花壇を眺めることもあった。